



おのまち

祝・20歳!

181号

令和7年
2月12日発行

議会だより



定例会 12月会議

常任委員会審査結果	5
町政を問う！6人が一般質問	7
議会活動トピックス	14
議会活動日誌	15

(20歳の集い終了後スーツ姿で1枚!)

定例会 12月会議

12月5日～11日



▲本会議の様子

令和6年小野町議会定例会12月会議は、12月5日から11日まで7日間の日程で開かれました。

会議では、令和6年度一般会計補正予算、条例の制定や一部改正など町長提出議案11件が提出され、議案をすべて原案のとおり可決しました。

また、6名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをたきました。

令和6年度 各会計補正予算

令和6年度一般会計並びに各特別会計等の補正予算について審査しました。

各会計の補正予算額及び補正後予算額については、右表のとおりです。

	会計区分	補正額	補正後予算額
	一般会計	9522万円	65億8408万円
特別会計	国民健康保険	715万円	11億9633万円
	介護保険	3384万円	15億1519万円
	浄化槽整備推進事業	△1250万円	5567万円
水道事業会計	収益的収入	△28万円	1億6788万円
	収益的支出	385万円	1億5900万円

※1万円未満切り捨て

条例の制定・一部改正

条例制定2議案、条例の一部改正3議案を可決しました。主な内容は次のとおりです。

◆小野町浄化槽整備事業の設置等に関する条例

令和7年度より地方公営企業法を適用するにあたり、地方公営企業の設置及び経営の基本に関する事項について条例を制定するものです。

◆小野町児童館設置条例

地方自治法及び児童福祉法の規定に基づき児童館を設置するため、新たに条例を制定するものです。

名称：小野町児童館
位置：小野新町字万景上7番地
施行日：令和7年4月1日

〈参考〉

公募、選考により児童館の愛称は『キラッと☆おの』となりました。



◆町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正

福島県人事委員会の職員給与等に関する報告及び勧告に基づき、特別給において期末手当の改正を行うものです。

◆職員の給与に関する条例の一部改正

福島県人事委員会の職員給与に関する勧告に基づき、福島県に準じて所要の改正を行うものです。給与は令和6年4月1日より、期末手当及び勤勉手当は令和6年12月1日より適用するものです。

◆議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正

福島県人事委員会の職員給与等に関する報告及び勧告に基づき、特別給において期末手当の改正を行うものです。



人事案件

◆固定資産評価審査委員会の委員の選任に同意

小野町固定資産評価審査委員会の委員として、横田貞子氏（再任・南田原井）を選任することに同意を求められ、全員賛成で同意しました。



よこた 貞子氏
横田 貞子氏

総務常任委員会

◆陳情書

令和6年定例会9月会議において継続審査とした、陳情第8号「刑事訴訟法の再審規定（再審法）の改正を求める意見書」の提出を求める陳情書については、再審査の結果「趣旨採択」としました。



陳情書からの説明

1月第1回会議開催

1月24日に令和7年小野町議会1月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

補正予算

「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」が追加され、増額補正となりました。

主な補正内容については次のとおりです。

①低所得者世帯支援を拡大

住民税非課税世帯や定額減税しきれない方等へ給付金が支給されます。

②物価高騰の影響を受けた生活者

や事業者の支援
町民の一人に対して
4,000円の商品
券が配布されます。

会計区分	補正額	補正後予算額
一般会計	7890万円	66億6299万円

※1万円未満切り捨て

11月第1回会議開催

11月21日に令和6年小野町議会11月第1回会議を開催し、次の議案を可決しました。

条例の一部改正

◆町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正

国庫補助金や町税並びに保険料等の不適切な事務処理に対する管理責任のため、町長及び副町長の給料の一部を減額するものです。

公の施設の指定管理者の指定

小野町公民館雁股田分館を活動拠点とし、公民館事業を通して地域住民の学びや交流の促進及び「人づくり」「地域づくり」に取り組んでいくものです。

指定団体：一般社団法人 ライトスタッフ
 指定期間：令和6年12月1日から

令和9年3月31日まで



補正予算

後期高齢者医療保険料の過年度分還付金を歳入歳出において増額補正するものです。



専決処分の報告

10月27日執行の衆議院議員総選挙に係る選挙費について専決処分をしたものです。



会計区分	補正額	補正後予算額
一般会計	895万円	64億8886万円

※1万円未満切り捨て

会計区分	補正額	補正後予算額
後期高齢者医療特別会計	42万円	1億2591万円

※1万円未満切り捨て

契約締結（追認）

小学校教師用教科書及び指導書の購入予定価格が700万円以上の財産取得でありましたが、当議案3件は議決を得ずに契約をしていたため、議会の議決を追認するものです。

平成27年度

契約先：有限会社 小泉書店
 契約額：813万1864円

令和2年度

契約先：有限会社 小泉書店
 契約額：828万3911円

令和6年度

契約先：有限会社 小泉書店
 契約額：995万4788円



ここが聞きたい 質疑 常任委員会審査

予算決算常任委員会

令和6年度の一般会計及び各特別会計補正予算を審査しました。

健康福祉課

問 事業が終了した「お助けサービス」「ミニデイサービス」の代替手段はどのように考えているのか。

答 社会福祉協議会と協議し、有償ボランティア事業の実態に向けて検討している。

また、地域の高齢者サロン等の参加を勧めていきたい。



産業振興課

問 植樹祭地の森林の整備にかかる財源はどのように考えるのか。

答 森林環境譲与税基金を充てる。

問 観光キャンペーンは、どこをメインの観光とするのか。

答 JRとの共同であるため、夏井駅と夏井千本桜を考えている。

小野新町駅開業後110周年であるため、小野新町駅から東堂山観光や登山などにタクシーの利用も考えている。



夏井千本桜の風景

地域整備課

問 公営住宅の修繕料は増加傾向にあると思われるが、今後の対応は考えているのか。

答 団地については、長寿命化を図り、外部や内部等の修繕を進める。

老朽化した住宅については維持管理に努めながら将来的に取り壊しの方向で進める。

問 国道349号線の起伏部分を平坦にするほか、痛みがひどい道路の修繕をお願いしたい

答 県へ舗装や補修の要望は出しており、町内の道路の危険性がないように対応していく。



審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。
・田村弘文議長は採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	橋本善雄	國分順一	羽生洋市	會田百合子	緑川久子	先崎勝馬	竹川里志	宗像芳男	水野正廣	中野孝一
11月第1回会議	町長	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度小野町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		公の施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
		財産の取得について（追認）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		財産の取得について（追認）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		財産の取得について（追認）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定例会12月会議	町長	小野町浄化槽整備事業の設置等に関する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		小野町児童館設置条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度小野町一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度小野町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度小野町介護保険特別会計補正予算（第3号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度小野町浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		令和6年度小野町水道事業会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
小野町固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第1回会議	町長	令和6年度小野町一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案を示します。
※紙面の関係上、予算決算関係議案と人事議案は集約して掲載しています。個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、2月下旬に小野町のホームページに掲載予定の「会議録」をご覧ください。

緑川 久子 議員 8 ページ

- 1 不登校児童生徒への支援の在り方について
 - ◆ ・多様な教育環境の充実について
- 2 誰もがデジタル化の恩恵を受けられる町を目指して
 - ◆ ・“デジタル（スマホ・パソコン等）なんでも相談室”の定期的開催を

水野 正廣 議員 9 ページ

- 1 一般行政について
 - ◆ ・循環バス等の運行について
- 2 環境行政について
 - ◆ ・ウィズウェストジャパン一般廃棄物処理場について
 - ◆ ・夏井自然公園について

竹川 里志 議員 10 ページ

- 1 小野町の産業について
 - ◆ ・小野町の産業の現況と課題について
 - ◆ ・小野町の支援制度の活用状況について
- 2 一般行政について
 - ◆ ・自動運転バス導入での町づくりについて
 - ◆ ・タブレット配布での町づくりについて

中野 孝一 議員 11 ページ

- 1 一般行政について
 - ◆ ・令和6年度「実施計画書」について
 - ◆ ・次年度の取り組みについて
- 2 政治姿勢について
 - ◆ ・町政運営について
 - ◆ ・任期満了に伴う次期町長選挙について

宗像 芳男 議員 12 ページ

- 1 消防行政について
 - ◆ ・消防団活動と班編成の方針について
 - ◆ ・ポンプや機材器具等の利活用について
- 2 教育行政について
 - ◆ ・タブレット等導入後の効果と将来性について
 - ◆ ・5年10年後の学力低下報道について
- 3 農業行政について
 - ◆ ・農業振興と基盤整備について
- 4 町長の政治姿勢について
 - ◆ ・1期目の成果と活性化について
 - ◆ ・来春の町長選について

羽生 洋市 議員 13 ページ

- 1 一般行政について
 - ◆ ・豪雨の際の河川対策について
 - ◆ ・町内の河川からの逆流防止策について
 - ◆ ・河川管理道路の町の考え方について
 - ◆ ・防災士の活用について
- 2 一般行政について
 - ◆ ・発酵の街づくりの具体的計画について
 - ◆ ・夏井地域への発酵関係加工場設置計画について



問

不登校児童生徒への支援の在り方について



緑川 久子 議員

答

専門職員等の配置により環境を整えている

問 不登校の児童生徒が34万人と増加傾向にあり、県内でも4338人と過去最多を更新しました。不登校になる要因は様々で多様化、複合化しており、文部科学省では不登校はどの児童生徒にも起こり得ることとして、学びの保障に向けた“CO-COLOプラン”を策定し、県でもスクールカウンセラーなどの相談体制の拡充やオンラインなど多様な学べる環境を整備する考えです。小野町の現状と課題、支援体制について伺います。

答 一人の児童生徒のよさや持ち味を生かした主体的な学びがあり、みんなが活躍できる機会や出番のある授業づくり等、行く楽しみのある場所になっていると考えます。

第二に、校内教育支援センターが効果的に機能している結果と考えます。学校には来るけれども、教室には入れない子や気持ち落ち着かせて次に移りたい子が利用できる場所があり、専任の教師を置いて、その子の実態に応じた関わりをしています。

第三に、特別支援員やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーといった専門職員をきめ細やかに配置しています。担任等に加え、専門職ならではの細やかな声かけや相談がしやすい環境を整えています。

今後とも誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策の具現に向け児童生徒への支援の取組を進めてまいります。

問

”デジタル（スマホ・パソコン等）なんでも相談室”の定期的開催を

答

スマホ教室の開催や相談窓口の設置を進める

問 人口減少が進み、医療や防災、買い物手段などのデジタル化が加速する中、町でもスマホ等による情報発信や行政手続きなどデジタル化が進められていますが、利用者が少ない状況です。定期的に気軽に相談できる場を設けてはどうか町長に伺います。

町長 小野町の公式LINE登録者は田村市や三春町と比較すると少ないのが現状であります。

今般、高齢者サロン開催後に行った代表者へのスマホアンケートの結果では、参加者28人のうち、18人が既にスマートフォンを所持しており、所持していない方は、使い方が難しそう、ネット詐欺が心配など、使用することへの不安があるという結果になりました。また、15地区のうち14地区が高齢者サロンでのスマホ教室の開催を望んでいるという結果となりました。これらのニーズを踏まえ、高齢者サロンや老人クラブでのスマホ教室の開催や町民が気軽に相談できる相談窓口の設置を進めてまいります。





水野 正廣 議員

問

循環バス等の運行について

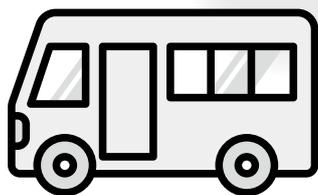
答

小野町地域公共交通計画に沿って 検討を重ねる

問 町では交通弱者支援のためタクシー料金が、800円以上の利用者に補助されていますが、導入当時、800円未満の利用者との不公平感も議論されたと記憶しております。近年、ますます高齢化が進み、高齢者の事故も増えて、免許証返納者等により交通弱者も増えていきます。今後、新庁舎建設により、町なかから郊外へ移転されます。交通弱者支援、高齢者事故防止等を考慮し、循環バス等の運行を検討すべきと考えますが、町長の考えを伺います。

町長 人口減少や少子高齢化の進展が著しい本町において将来にわたって持続可能な交通体系の構築を図り、タクシー利用料金助成制度の新たな仕組みづくりや鉄道や路線バスの利用促進、交通弱者の移動手段の確保など、様々な検討を行うため、本年6月に小野町地域公共交通計画を策定しました。

今後、新庁舎移転を控え、住民の交通ニーズも大きく変化を予想し、循環バス等の運行も含め、地域の特性や実情に合った公共交通の確保に向け、検討を進めているところであります。



問

夏井自然公園は 今後どうされるのか

答

公園としての廃止を検討する

問 夏井自然公園は、多額の費用を投じて設置されましたが、東京電力第一原発事故後の撤去土壌の仮置場の用途などに活用されたことや、距離的に不便なことから、利用者は少なかったと思われれます。今後はどうされていかれるのか伺います。

町長 平成8年の設置当初には、その豊かな自然環境と見晴らしのよさから一定数の利用がありました。山間部にあり、自家用車でないといきにくく、防犯上の不安があることなどから、利用者は年々減少している状況でした。

町では、公園の管理について、除草などの環境整備に努めてまいりましたが、のり面の大規模な崩落があったことと、東京電力福島第一原子力発電所の事故による除染廃棄物の仮置場として利用せざるを得なかったことから、公園としての利用はせず、最低限の管理を行ってまいりました。

なお、現在は令和5年の処分場の埋立て事業の再開に伴い、事業の運営用地として株式会社ウィズウエイストジャパン社に貸付を行っているところであり、今後は、施設の維持管理の費用対効果も踏まえ、公園としての廃止の検討を進めてまいります。

問

自動運転バス導入での町づくりについて



竹川 里志 議員

答

調査研究を勧め機会があれば試験走行を考えている

問 近年は、高齢者による運転事故の傾向もあり、バスなどの公共交通機関の充実が求められております。若年層の都市部への流出による利用者数の減少、運転免許証返納者などにより、外に出る機会が減少し、体力の低下や生活の活力を失います。

これらの課題解決のために、自動運転バスの導入としてはどうでしょうか。EVバスは排気ガスの排出を抑え、災害時には電源供給ステーションや冷暖房完備の避難所としても利用でき、地域格差問題、現代の課題に対する新しい視点で通学、交通弱者、買物支援、経済と人の交流、ビジネス、観光への地域振興のためにも小野町の地域公共交通の充実に向け、ICT活用の電動バスモビリティによる自動運転バス導入について伺います。

町長 人口減少や高齢化による運転手不足という課題を解決し、持続可能な公共交通ネットワークを構築するため、自動運転バスの導入につきましても、小野町地域公共交通計画において、新たな技術の活用による安心して利用できる環境づくりの項目に位置づけております。今後は、先進自治体の取組状況を参考にしつつ、町民並びに観光客等の来訪者の利便性向上や先端技術活用により、町の魅力を高める視点も含め、自動運転バスの取組について調査研究を進めてまいります。

答

財源確保により各団体等から配布を始めたい

問

タブレットを全世帯に配布し町づくりに活用

問 小野町独自の健康、防災などのアプリをインストールしたタブレットを全世帯に配布し、将来のまちづくりに活用してはどうか伺います。

町長 タブレットについては、防災や子育てなどの行政情報から地域のイベントに至るまで公共性の高い各種情報を町民の方々に等しく確実に速やかに届けるツールとして活用が期待されております。他自治体を見ますと、タブレットの全世帯貸与や高齢者などスマートフォンを所持していない方のみへの貸与など、様々なニーズに対応した取組を進めていたり、専用アプリを通じて、災害時の安否確認に利用するなど、地域課題の解決に役立っている例があります。財源を確保し、区長会、農業委員会などから配布を始めていきたいと考えております。



中野 孝一 議員

問

令和6年度「実施計画書」の検証

答

各プロジェクトとも順調に進捗している

問 小野町総合計画において令和6年度実施計画書で取り組んでいる主要な施策の検証内容について、伺います。

町長 町の最重要課題である人口減少対策については、小野町人口ビジョンの改定及び小野町デジタル田園都市国家構想総合戦略の策定作業は、順調に進捗しております。

各プロジェクトについて子育て応援・人づくりについては、来年4月の供用開始に向けた新たな児童館の建設、健康長寿のまちづくりについ

ては、おのまち健康まつりの中で、イベントブースへの参加や個別の保健指導を通じ、健康に対する意識の醸成が図られ、災害に強く快適な住環境のまちづくりについては、県中地方総合防災訓練において、様々な災害を想定し消防、警察、自衛隊などと連携した訓練や、防災アプリ体験などを通して、来場者の防災意識の高揚を図りました。

元気産業のまちづくりでは、「発酵の学校」が開講され、12回全講座を受講された27名の方が、発酵食品ソムリエの認定証を授与しました。また、魅力発信と移住・定住支援では、地域おこし協力隊を中心に町のPR動画のユーチューブ配信やインスタグラムへのイベント情報配信を図

り、みんながつながる協働のまちづくりにおいては、東日本電信電話株式会社と連携協定を締結し、デジタル化による住民サービスの向上や行政運営の効率化などが進められました。

最後に、持続可能な未来への基盤づくりにおいては、役場新庁舎建設や、小野インターチェンジ周辺開発などについて、各課横断的な庁内検討会議を設け各種課題の解決による事業の進捗が図られました。

引き続き、総力を挙げて事業に取り組んでまいります。

問

任期満了に伴う次期町長選挙について

答

町長選挙に向けて出馬を検討

問 来年3月の任期満了に伴う次期町長選挙における町長の出進退を伺います。

町長 公約に掲げた施策や現在進めている事業などについても、まだまだ道半ばでありますし、それ以上に進めなければならぬ課題も数多く見えてまいりました。その多くの課題解決のために、町民の皆さんの負託をいただけるのであれば、再度職務を担わせていただければと考えており、そのためには、来年3月に予定されている町長選挙に向けて前向きに出馬を検討したいと考えております。



問

タブレット等導入後の効果と将来性について

答

多くの利点があり学習活動の充実が図られている

問 小野小・中学校の児童・生徒にタブレット等を導入し、先進的な教育が進められておりますが、その効果と将来性について教育長に伺います。

教育長 一人一台の端末導入により、一人一人の能力や特性に応じた個別学習がこれまでよりもより効果的にできるようになりました。数名の考えしか取り上げられなかったものが、画面上で全員の考えをリアルタイムで共有することができ、

多様な見方、考え方に即時に触れられます。一方、教師は一人一人全員の考えを把握でき、適時適切なアドバイスもできるようになっていきます。更に、写真や音声などをタブレットに取り入れることで、紙の教科書ではできなかった動きのある教材で理解を深める等、多くの利点があり、学習活動の充実がこれまで以上に図られてきております。

現在、日進月歩で進むA-技術の急速な進歩の中で学校教育においてもICT環境に柔軟に対応できる能力を育んでいくことは、これらの時代を生きる児童・生徒のために必要であると考えております。



宗像 芳男 議員

問

1期目の成果と活性化について

各事業全力で取り組んできたが 完結していない部分が多い

答

問 就任以来、町政進展のため、鋭意努力されておられますが、この間、公約に対する成果と町の活性化を達成されたのか伺います。

町長 公約実現に向け、全力で各事業に取り組んできたところです。長年の課題であった役場庁舎の小野インター周辺への建設を決定し、子育て支援の充実を図るための小野町児童館については、来年度より供用となります。

そのほか、町の活性化を図るためのプレミアム商品券の発行や、交流人口の増を目的とした他自治体との交流事業を積極的に行ってきました。今後は、住民主体による地域づくり協議会を防災機能を含めた組織として進め、農業の6次産業化を目的とする発酵文化の推進、多文化共生のまちづくりなどについても、取り組みを加速させてまいります。

また、人口問題は、町にとって非常に危機的状況であり、どのような施策で子供の数を増やし、若い方々を増やしていくか、総合的に取り組まなければならないと考えており、町民の皆さんと連携強化を図り、人口対策を進めていきたいと考えます。様々な課題が出てくる中、まだまだ完結していない部分が多いのが現状です。

再質問 今後、まちづくりにはどのような施策をお考えなのか、優先順位を考えたうえで答え願います。

町長 人口対策が最重要であり、防災や地域づくり、農業の再生、また、交流人口、関係人口を増やし町の活性化につなげていきたいと考えております。今後、安心・安全で住み続けられるまちを最優先に考えた人口増や農業、商工業等の発展に向け、人口の現状維持を図りたいと考えております。



羽生 洋市 議員

問

豪雨の際の河川対策について

答

雨水の貯留機能の活用や地区防災計画の推進を行う

問 町内の右支夏井川の河川工事がなかなか進んでいない状況にあります。これまでの水害経験を生かした町としての取組、豪雨対策につながるハード面とソフト面での対応について伺います。

町長 ハード面での対策は、浮金地区や飯豊上地区でのほ場整備事業において、水田の雨水貯留機能を活用した田んぼダム対応の排水ますを整備しており、両地区合わせて3万1,800トン（B&G海洋センター25メートルプールで約88杯分）の雨水をためることができません。

また、こまちダムにも洪水調節機能があり、台風の到来前に事前放流を行うことで、最大49万トンの雨水を貯留でき、洪水ピーク時の下流域への水量を軽減することができ。更に、実証実験段階ではありませんが、浸水センサーを設置し、避難開始の判断や道路冠水状況の把握による避難経路の確認等の情報として、行政区などと共有し、地域住民の安全・安心の確保が図られるよう対応しています。

ソフト面は、町民の一人一人の防災意識の向上に向けた取組をし、特に避難に時間がかかる高齢者や障がいをお持ちの方への対応が重要であり、迅速な避難には地域住民の支援が必要不可欠であることから町では現在、地域住民が行う自発的な防災活動に関する事項をまとめた地区防災計画の策定を推進しています。

問

河川管理道路の町の考え方について

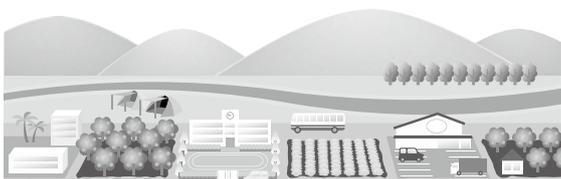
答

関係機関との協議を進め通行等に支障を来さない方策を検討する

問 飯豊地区の河川管理道路については、農道が消え、その後県管理の河川道路となった経緯があり町道でない箇所は、住宅新設に制限がある。住宅に接した河川管理道路を町道として整備し、消防車、救急車が通れる道とし、不便な状況を解消できないか伺います。

町長 都市計画区域内にある地域での住宅新築にあたっては建築基準法上、基本的に4メートル以上の道路に接していることや町道に認定されていることなど、一定の要件があり、平成8年に区域指定された本地域に関しては、現時点、新築を行うことは困難な状況であります。

解消策については、法令上の要件に合致できるように対応する必要性があります。河川管理道路の町道認定については、河川を管理している福島県との協議等が必要となってくることから、関係機関や地権者との協議を行いながら、住宅の建築や緊急車両の通行等に支障を来たさない方策を検討してまいります。



議会活動トピックス

小野町児童館視察(12月10日)

令和7年度開設予定である小野町児童館を視察いたしました。9月議会時に一度、現地視察を行いました。骨組みが完成したため建物の内部を見学し、詳細について説明をしていただきました。



建物の内部を見学



新庁舎建設等検討 特別委員会を開催(12月20日)

新庁舎建設等検討特別委員会において、敷地造成や道路整備の計画、用地取得、今後のスケジュール等について新庁舎整備室より説明を受けました。



委員会の様子



新庁舎建設地及び周辺土地利用の説明を受ける

議会活動日誌

11月

- 2日 令和6年度たむら地区 JA まつり
郡山市制施行 100 周年記念式典（郡山市）
小野町文化祭
- 6日 講演会（講師：㈱ミライト・ワン 菅原英宗氏）
- 8日 月例全員協議会
総務文教常任委員会
- 10日 第 14 回議長杯行政区対抗ゴルフ大会（須賀川市）
- 13日 第 51 回老人作品展表彰式
第 68 回町村議会議長全国大会（東京都）
ふくしま駅伝小野町チーム激励金交付式
- 14日 田村地区交通安全大会
- 17日 第 36 回 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会応援
第 36 回 市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会報告会
- 18日 全国過疎地域連盟総会（東京都）
- 21日 議会運営委員会
議会全員協議会
議会 11 月第 1 回会議
浮金地区土砂搬入現場視察
総務文教常任委員会
- 23日 小野町功労者表彰式
市町村対抗野球大会小野町チーム報告会
- 25日 例月出納検査
- 26日 職員永年勤続表彰式
- 28日 定例会 12 月会議議会運営委員会

12月

- 2日 定例会 12 月会議全員協議会
- 5日~11日 小野町議会定例会 12 月会議
- 8日 第 5 回さいとう医院杯少年剣道大会
- 10日 小野町児童館建築現場視察
- 11日 月例全員協議会
百歳賀寿贈呈式
- 12日 右支夏井川河川改修事業東北整備局要望活動（仙台市）
- 17日 第 65 回東邦あぶくま睦会定期総会
- 20日 新庁舎建設等検討特別委員会
- 24日 福島民報社との連携協力協定式
- 25日 例月出納検査
令和 6 年度定期監査結果報告
- 27日 公立小野町地方総合病院企業団議会

1月

- 6日 小野町消防無火災祈願・出初式
新年交礼会
- 10日 月例全員協議会
- 11日 百歳賀寿贈呈式
交通安全祈願祭
- 12日 令和 7 年小野町二十歳の集い
- 24日 議会運営委員会
議会全員協議会
小野町議会 1 月第 1 回会議
- 25日 百歳賀寿贈呈式
- 27日 例月出納検査

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

議会からの **お知らせ**

定例会 2月会議は

2月13日(木)から開会します。

一般質問は2月14日(金)の予定です。
定例会の一般質問を傍聴することができます。

- 座席数の関係で入場できる人数に制限があります。(※傍聴席でのマスク着用は任意となります)
 - 傍聴席が満席の場合は、会議室でのテレビ視聴となる場合があります。
 - 一般質問の様子をYouTubeにより動画配信をいたします。
- ※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(☎0247-72-6930)

スマートフォンアプリ
マチイロで配信しています！

より多くの皆さんに「おのまち議会だより」をお届けできるよう、スマートフォン用無料広報誌アプリ「マチイロ」で配信をしています。ぜひご覧ください。

QRコードからアクセスしてください



マチイロ
マチを好きになるアプリ

祝・二十歳！
人生の門出となる二十歳の集いが開催され、議長が「ふるさと小野町の未来のため、魅力ある町づくりに参画いただきたい」と期待を込めたお祝いの言葉を送りました。

また、参加者を代表し先崎琉雲さんが「家族へ感謝し、目標に向かって進んでいきたい」と力強く抱負を述べました。



表紙の写真
(抱負を述べる先崎琉雲さん)

小野町議会

【小野町議会広報編集委員会】

委員長	田村 弘文
副委員長	中野 孝一
委員	先崎 勝馬
委員	緑川 久子
委員	會田百合子
委員	羽生 洋市
委員	國分 順一
委員	橋本 善雄

新しい年が始まりました。地方の若者や女性の都会への流出が課題となる中、若者・女性に選ばれる楽しい地方を目標とした取り組みが官民一体となって始まるうとしています。地方の人口減少に歯止めをかける突破口になるのか？掛け声だけなのか？これまでも地方に根づくジェンダーギャップや働く場の多様性にかけていること等が指摘されてきましたが、まずは意識改革など出来るところから小さな一歩を進めてみませんか。

3月には町長選挙並びに町議員再選挙が行われます。限りある人材と財源の中、町の将来を考える大事な選挙です。政策提案、行政監視といった基本に立ち返り町民の皆さまの声を反映できる開かれた議会で、安心して暮らせる町づくりをめざします。「笑顔とがんばり」で皆さまと共に進んで参りますので、本年もよろしくお願いたします。

小野町議会広報編集委員会
委員 緑川 久子



おのまち議会だよりは、環境にやさしいインキを使用しています。